

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市北区金岡町マンション	階数	地上10階
建設地	大阪府堺市北区金岡町544番4 他	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、近隣商業地域、準	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年2月21日
敷地面積	1,134 m ²	作成者	高橋建築設計事務所
建築面積	315 m ²	確認日	2022年2月22日
延床面積	2,650 m ²	確認者	高橋建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
圧迫感を感じさせないよう敷地奥側に建物を配置し、緑地には中高木をバランスよく植栽することにより周辺環境との調和を目指した。 また歩道を設け、自動車の動線を分離することで、居住者の安全性に配慮している。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音性能を高め、生活音が漏れにくい製品を採用している。 また、建築材料をほぼ全面的に汚染物質の少ない製品を採用しており、室内の空気に配慮している。	階高を高く設定している。 また内装・仕上げにおいては、維持管理に配慮した取り組みをしている。	植栽により、良好な景観を形成することで周辺環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外壁面に発砲硬質ウレタンフォームを施す等、外皮の断熱性を高めるなどし、省エネルギーに配慮した。	節水仕様の便器を採用し、節水に取り組んでいる。 部材の再利用や汚染物質の含有が少ない製品を採用している。	低Nox型のカス給湯器を採用し、汚染物質の発生を抑えている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市北区金岡町マンション	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区金岡町544番4 他11筆	1.1	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 2,650.23 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
エネルギー削減	5	● ● ● ● ●
建物の断熱性	4	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.3	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	4.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
評価項目	スコア	評価点		
エネルギー削減	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0	5
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	3
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	2.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
評価項目	スコア	評価点		
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	2.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	